



2019年5月8日

各 位

会 社 名 カップ・クリエイト株式会社
代表者名 代表取締役社長 小澤 俊治
(コード番号 7421 東証1部)
問合せ先 執行役員管理本部長 小林 元樹
兼経理部長
(TEL 045-224-7095)

減損損失の計上及び業績予想の修正並びに 配当予想の修正に関するお知らせ

2019年3月期における減損損失の計上及び2018年4月27日に公表した業績予想の修正並びに配当予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当第4四半期連結会計期間において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、新たに111店舗に対し859百万円の減損損失を計上することといたしました。

2. 通期業績予想の修正

(1) 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正
(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	81,533	1,631	1,714	798	16.18
今回修正予想(B)	76,158	629	760	142	2.92
増減額(B-A)	△5,375	△1,002	△954	△656	
増減率(%)	△6.6	△61.4	△55.7	△82.2	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	78,728	378	516	810	16.63

(2) 通期連結業績予想の修正理由

当社では、当連結会計年度において、より魅力的かつ付加価値の高いメニュー・商品の開発・販売を基盤としつつ、ブランド認知向上も含めた様々なプロモーション活動に取り組んでまいりました。他方、各種フェアによる集客施策は、一定の効果を上げたものの、当初想定した水準に達しなかったため、売上高は計画に対し5,375百万円の減少となりました。

利益面につきましても、品質・サービスの向上に向けた店舗オペレーションの改善やコストの見直しに取り組んでまいりましたが、売上高が計画を下回ったこと及び人件費の高騰などもあり、営業利益・経常利益ともに計画を下回る見通しとなりました。

これに加え、前述のとおり減損損失の計上により親会社株主に帰属する当期純利益も通期連結業績予想を下回る見込みとなりました。

3. 配当予想の修正

(1) 配当予想修正の理由

当社は、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様へ安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針としております。

上記方針に基づき、通期業績の状況や経営環境等を総合的に勘案し、株主の皆様への利益還元を検討した結果、2019年3月期の期末配当予想につきまして1株当たり5円に修正することといたしました。

なお、当社は定款の定めに基づき、剰余金の配当については取締役会の決議により決定されます。したがって、本件の期末配当金額の正式決定は2019年5月に開催される取締役会で行う予定です。

(2) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2018年4月27日発表)		—	—
今回修正予想		5円00銭	5円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2018年3月期)	0円00銭	5円00銭	5円00銭

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上